

大学番号 008

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

意見伺い

弘前大学 医学部 心理支援科学科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人弘前大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部総務企画課
職名・氏名	カチョウ フルダテ トシキ 課長 古館 賢樹
電話番号	0172-39-3008
（夜間）	0172-39-3008
e-mail	imgaku@hirosaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学部

＜心理支援科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	29
6. 附帯事項等に対する履行状況等	62
7. その他全般的事項	65

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒036-8564 (〒036-8560)

青森県弘前市大字本町66番地1号 (青森県弘前市大字文京町1番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	—		
学長	(フクダ シンサク) 福田 眞作 (令和2年4月)		
学部長	(ヒロタ カズヨシ) 廣田 和美 (令和2年4月)		
学科長	(クリバヤシ ミチト) 栗林 理人 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学部 心理支援科学科 学士（心理学）	文学関係 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション学関係を除く。）	年 4	人 10	年次 人 -	人 40		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	10 (-) [-]	(-) [-]	10 (-) [-]	(-) [-]	1.05倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	44 (-) [2]	- (-) [-]	22 (-) [1]	- (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	44 (-) [2]	- (-) [-]	21 (-) [1]	- (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	- (-) [-]	11 (-) [0]	- (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	10 (-) [-]	- (-) [-]	11 (-) [0]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A									1.00		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	10 [-] (-)	- [-] (-)	11 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	10 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		/		[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					[] ()

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	10人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	21人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 心理支援科学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	基礎ゼミナール	1前	2			1						
	地域学ゼミナール	1後	2									1
	担当部局(課)名 総務部総務企画課											
	小計(2科目)	-	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ローカル科目	青森の行政	1前	2									1
	青森の経済・産業	1前	2									1
	青森の文化	1前	2									1
	青森の歴史	1前	2									2
	青森の芸術	1前	2									1
	青森の民俗・芸能	1前	2									1
	青森の自然	1前	2									4
	小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	11
グローバル科目	グローバル社会・経済	1後	2									1
	国際地域	1後	2									1
	比較文化	1後	2									1
	世界の芸術・芸能	1後	2									1
	地球環境	1後	2									4
	グローバルヘルス	1後	2									5
	日本	1後	2									1
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14	
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前	2									1
	青森の食と産業化	2前	2									4
	市民参加と地域づくり	2前	2									1
	青森エクスカーション	2前	2			1						
	地域プロジェクト演習	2前	2									1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	基礎ゼミナール	1前	2			1						
	地域学ゼミナール	1後	2			4	4					
	担当部局(課)名 総務部総務企画課											
	小計(2科目)	-	4	0	0	4	4	0	0	0	0	0
ローカル科目	青森の行政	1前	2									5
	青森の経済・産業	1前	2									1
	青森の文化(未開講)	1前後	2									3
	青森の歴史	1前	2									4
	青森の芸術	1前	2									1
	青森の民俗・芸能	1前	2									1
	青森の自然	1前	2									19
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	34	
グローバル科目	グローバル社会・経済(未開講)	1前後	2									2
	国際地域(未開講)	1前後	2									6
	比較文化	1後	2									2
	世界の芸術・芸能	1前	2									2
	地球環境(未開講)	1前後	2									4
	グローバルヘルス(未開講)	1前	2									8
	日本	1前後	2									5
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	28	
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前	2									2
	青森の食と産業化(未開講)	2前後	2									2
	市民参加と地域づくり(未開講)	2後	2									2
	青森エクスカーション	2前	2					0				3
	地域プロジェクト演習	2前	2									3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	7
社会・文化	くらし・文化	1前		2							2
	思想	1前		2							1
	言語学の世界	1前		2							1
	文学	1前		2							1
	芸術	1前		2							1
	政治経済・社会	1前		2							1
	法と社会A	1前		2							1
	法と社会B	1前		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	9
自然・科学	環境と生活	1前		2							3
	工学の世界	1前		2							1
	農学の世界	1前		2							2
	数学の世界	1前		2							1
	物理学の世界	1前		2							1
	化学の世界	1前		2							1
	生物学の世界	1前		2							3
	情報処理入門A	1前		2							1
	情報処理入門B	1前		2							1
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0
人間・生命	人間の尊厳	1前		2							1
	心理学の世界	1前		2							1
	メンタルヘルス	1前		2							1
	生活と健康	1前		2							4
	医学・医療の世界	1前		2							4
	情報と健康・医学	1前		2							2
	運動と健康A	1前		2							3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	12
社会・文化	くらし・文化	1前		2							1
	歴史・地理	1前		2							1
	思想	1前		2							1
	言語学の世界	1前		2							1
	文学(未開講)	1前後		2							3
	芸術	1前		2							1
	政治経済・社会	1前		2							3
	法と社会A(未開講)	1前		2							1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	12
自然・科学	環境と生活	1前		2							1
	工学の世界(未開講)	1後		2							4
	農学の世界(未開講)	1前後		2							5
	数学の世界(未開講)	1前後		2							3
	物理学の世界(未開講)	1前後		2							7
	化学の世界	1前		2							1
	生物学の世界	1前		2							3
	情報処理入門A	1前		2							3
	情報処理入門B(未開講)	1前		2							1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	25
人間・生命	人間の尊厳	1前		2							1
	人を育む営み	1前		2							14
	心理学の世界(未開講)	1前後		2							3
	メンタルヘルス	1前		2							4
	生活と健康	1前		2							9
	医学・医療の世界	1前		2							8
	情報と健康・医学(未開講)	1前後		2							3
	運動と健康A(未開講)	1前後		2							13

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動と健康B	1前		2								3
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	18
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	2									1
	キャリア形成の発展	2-3前	2			1						5
	キャリアデザイン	2前	2									1
	小計(3科目)	-	2	4	0	0	1	0	0	0	0	2
英語	Listening(初級)	1前		2								1
	Listening(中級)	1前		2								1
	Listening(上級)	1前		2								1
	Reading(初級)	1前		2								1
	Reading(中級)	1前		2								1
	Reading(上級)	1前		2								1
	Speaking(初級)	1後		2								1
	Speaking(中級)	1後		2								1
	Speaking(上級)	1後		2								1
	Writing(初級)	1後		2								1
	Writing(中級)	1後		2								1
	Writing(上級)	1後		2								1
	Integrated A(国際共通語としての英語)	2前		2								1
	Integrated B(一般学術目的の英語) Level 1	2後		2								1
	Integrated B(一般学術目的の英語) Level 2	3前		2								1
	Integrated C(キャリア英語)	3前		2								1
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	8	
多言語	ドイツ語 I	1前		4								2
	ロシア語 I	1前		4								1
	中国語 I	1前		4								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動と健康B(未開講)	1前		2								4
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	52
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	2									1
	キャリア形成の発展	2-3前	2			1						5
	キャリアデザイン(未開講)	2前後	2									6
	小計(3科目)	-	2	4	0	0	1	0	0	0	0	13
英語	Listening(初級)(未開講)	1前		2								10
	Listening(中級)	1前		2								4
	Listening(上級)	1前		2								3
	Reading(初級)(未開講)	1前		2								8
	Reading(中級)	1前		2								4
	Reading(上級)	1前		2								3
	Speaking(初級)	1後		2								1
	Speaking(中級)	1後		2								1
	Speaking(上級)	1後		2								1
	Writing(初級)	1後		2								1
	Writing(中級)	1後		2								1
	Writing(上級)	1後		2								1
	Integrated A(国際共通語としての英語)	2前		2								1
	Integrated B(一般学術目的の英語) Level 1	2後		2								3
	Integrated B(一般学術目的の英語) Level 2	3前		2								1
	Integrated C(キャリア英語)	3前		2								3
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	28	
多言語	ドイツ語 I	1前		4								2
	フランス語 I	1前		4								2
	ロシア語 I(未開講)	1前		4								1
	中国語 I	1前		4								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	朝鮮語Ⅰ	1前	4								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	4								3
	ロシア語Ⅱ	1後	4								1
	中国語Ⅱ	1後	4								1
	朝鮮語Ⅱ	1後	4								1
	小計(8科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	10
専門教育科目	【心理系科目】 心理学概論	1前	2		4	4					
	公認心理師の職責	1後	2		1						
	臨床心理学	1後	2			1					
	心理学研究法	1後	2		1						
	心理学実験	2前	2		1						
	心理統計法	2後	2		1						
	【医学・保健医療系科目】 医学概論	1前	2		1						
	保健学概論	1前	1								8
コミュニケーション論	1前	1								2	
早期体験実習(多職種連携)	1後	1			2						
心理支援科学英語講読基礎	2前	2			1						
人体形態学	2前	2								2	
人体機能学	2前	2								1	
人体病理学	2後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	朝鮮語Ⅰ(未開講)	1前	4								1
	日本語A(未開講)	1前	2								3
	日本語B(未開講)	1前	2								2
	ドイツ語Ⅱ	1後	4								3
	フランス語Ⅱ	1前	4								3
	ロシア語Ⅱ(未開講)	1後	4								0
	中国語Ⅱ	1前	4								3
	朝鮮語Ⅱ(未開講)	1後	4								0
	フランス語Ⅲ(未開講)	2前	2								0
	ドイツ語Ⅲ(未開講)	2後	2								0
	小計(14科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	16
専門教育科目	【心理系科目】 心理学概論	1後	2			4	4				
	公認心理師の職責	1後	2			1					
	臨床心理学概論	1後	2				1				
	心理学研究法	1後	2			1					
	心理学実験	2後	2			1					
	心理学統計法	2前	2			1					
	【医学・保健医療系科目】 精神疾患とその治療(医学概論)	1前	2			1					
	精神疾患とその治療(保健学概論)	1前	1								7
コミュニケーション論	1前	1								3	
早期体験実習(多職種連携)	1後	1			2					1	
心理支援科学英語講読基礎	2後	2			1						
人体の構造と機能及び疾患(人体形態学)	2前	2								2	
人体の構造と機能及び疾患(人体機能学)	2前	2								1	
人体の構造と機能及び疾患(人体病理学)	2後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動学	2後		2								1
	言語療法学概論	3後		1								2
	保健学概論演習	4後		1								5
	小計(17科目)	-	24	5	0	4	4	0	0	0	0	20
専門科目／ 専門応用科目	【心理系科目】 知覚・認知心理学	2前	2			1						
	感情・人格心理学	2前	2				1					
	発達心理学 I	2前	2				1					
	学習・言語心理学	2後	2			1						
	神経・生理心理学	2後	2				1					
	発達心理学 II	2後	2				1					
	健康・医療心理学	2後	2			1						
	臨床心理学演習 I	2後	1			1						
	障害者・障害児心理学	3前	2			1						
	心理アセスメント	3前	1			1	1					
	心理学的支援法 I	3前	2			1	1					
	福祉心理学	3前	2				1					
	教育・学校心理学	3前	2				1					
	臨床心理学演習 II	3前	1				1					
	社会心理学	3後	2									1
	心理学的支援法 II	3後	2			1						
	司法・犯罪心理学	3後	2									1
	産業・組織心理学	3後	2				1					
	関係行政論	3後	2			1						
	心理学基礎研究	3通	2			2						
	臨床心理学実習	3通	2			1	3					
	【医学・保健医療系科目】 精神医学	2前	2			1						
	臨床栄養学	2前		2								2
	老年看護学概論	2前		1								1
	作業療法概論	2前		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動学	2後		2								1
	言語療法学概論	3後		1								2
	保健学概論演習	4後		1								5
	小計(17科目)	-	24	5	0	4	4	0	0	0	0	20
専門科目／ 専門応用科目	【心理系科目】 知覚・認知心理学	2前	2				1					
	感情・人格心理学	2前	2					1				
	発達心理学 I	2前	2					1				
	学習・言語心理学	2後	2				1					
	神経・生理心理学	2後	2					1				
	発達心理学 II	2後	2					1	2			
	健康・医療心理学	2後	2				1					
	臨床心理学演習 I	2後	1				1					
	障害者・障害児心理学	3前	2				1					
	心理学的アセスメント	3前	1				1	1				
	心理学的支援法 I	3前	2				1	1				
	福祉心理学	3前	2					1				
	教育・学校心理学	3前	2					1				
	臨床心理学演習 II	3前	1					1				
	社会・集団・家族心理学(福祉心理学)	3後	2									1
	心理学的支援法 II	3後	2				1					
	司法・犯罪心理学	3後	2									1
	産業・組織心理学	3後	2					1				
	関係行政論	3後	2				1	1				
	心理学基礎研究	3通	2				2					
	臨床心理学実習	3通	2				1	2				
	【医学・保健医療系科目】 精神疾患とその治療(精神医学)	2前	2				1					
	臨床栄養学	2前		2								2
	老年看護学概論	2前		1								1
	作業療法概論	2前		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	心理支援科学英語講読応用	2後		2		1						
	心身医学	2後		2		1						
	薬理学	2後		2							1	
	衛生学・公衆衛生学	2後		2							1	
	疫学	2後		1							1	
	老年看護方法論	2後		1							1	
	医療リスクマネジメント	3前	1								6	
	発達小児科学	3前		2		1						
	医療情報学	3前		1							2	
	保健医療心理アセスメント	3後	1				2					
	保健医療心理支援演習	3後	1								1	
	慢性疾患学	3後		2		1						
	生命倫理学	4前		2		1						
	救急・蘇生医学	4後		1							1	
	保健医療地域支援実習	4通		2		1	2					
	【実践系科目／教育系科目】 教育原理	2前		2							1	
	養護学概論	2前		2							1	
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	3前		2							2	
	健康教育概論	3後		2							6	
	幼児理解と教育相談	3後		2							1	
	教職入門	3通		1							1	
	【実践系科目／福祉系科目】 社会福祉学	2前		1							1	
	セルフケア論	2前		1							1	
	保健医療福祉行政論	2後		1							1	
	社会保障論	4後		1							1	
	セクシュアリティ論	4後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	心理支援科学英語講読応用	2後		2		1						
	精神疾患とその治療(心身医学)	2後		2		1						
	薬理学	2後		2							1	
	衛生学・公衆衛生学	2後		2							4	
	疫学	2後		1							2	
	老年看護方法論	2後		1							1	
	医療リスクマネジメント	3前	1								4	
	発達小児科学	3前		2		1						
	医療情報学	3前		1							2	
	保健医療心理的アセスメント	3後	1				2					
	保健医療心理支援演習	3後	1								1	
	慢性疾患学	3後		2		1						
	生命倫理学	4前		2		1						
	救急・蘇生医学	4後		1							1	
	保健医療地域支援実習	4通		2		1	2					
	【実践系科目／教育系科目】 教育原理	2前		2							1	
	養護学概論	2前		2							1	
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2前		2							2	
	健康教育概論	3後		2							6	
	幼児理解と教育相談	3後		2							0	
	教職入門	3通		1							1	
	【実践系科目／福祉系科目】 社会福祉学	2前		1							1	
	セルフケア論	2前		1							1	
	保健医療福祉行政論	2後		1							1	
	社会保障論	3後		1							1	
	セクシュアリティ論	3後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	【実践系科目／産業系科目】 経営学入門	2前		2							1	
	経営戦略論	2後		2							1	
	経営管理論	3前		2							1	
	経営組織論	3後		2							1	
	【実践系科目／司法系科目】 刑事司法論	2後		2							1	
	法学特殊講義	3後		2							1	
	小計(57科目)	-	48	49	0	4	4	0	0	0	0	38
	卒業研究											
	臨床心理学基礎研究	3通	2			2	4					
	臨床心理学研究	4通	2			2	4					
卒業研究	4通	4			2	4						
小計(3科目)	-	8	0	0	2	4	0	0	0	0	0	
合計(150科目)	-	86	210	0	4	4	0	0	0	0	137	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目34単位、専門教育科目93単位以上(専門科目85単位(うち専門応用科目の医学・保健医療系科目13単位、実践系科目6単位)、卒業研究8単位)を修得し、127単位以上修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	【実践系科目／産業系科目】 経営学入門	2前		2							8	
	経営戦略論	2後		2							1	
	経営管理論	3前		2							1	
	経営組織論	3後		2							1	
	【実践系科目／司法系科目】 刑事司法論	2後		2							1	
	法学特殊講義	3後		2							1	
	小計(57科目)	-	48	49	0	4	4	0	0	0	0	43
	卒業研究											
	臨床心理学基礎研究	3通	2			2	4					
	臨床心理学研究	4通	2			2	4					
卒業研究	4通	4			2	4						
小計(3科目)	-	8	0	0	2	4	0	0	0	0	0	
合計(158科目)	-	86	230	0	4	4	0	0	0	0	237	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目34単位、専門教育科目93単位以上(専門科目85単位(うち専門応用科目の医学・保健医療系科目13単位、実践系科目6単位)、卒業研究8単位)を修得し、127単位以上修得すること。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	基礎ゼミナール	1前	2			1						
	地域学ゼミナール	1後	2									9
	小計(2科目)	-	4	0	0	1	0	0	0	0		9
ローカル科目	青森の行政	1前		2								2
	青森の経済・産業	1前		2								1
	青森の文化(未開講)	1前		2								6
	青森の歴史	1前		2								4
	青森の芸術	1前		2								1
	青森の民俗・芸能(未開講)	1前		2								2
	青森の自然	1前		2								19
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0		35	
グローバル科目	グローバル社会・経済(未開講)	1後		2								7
	国際地域(未開講)	1後		2								6
	比較文化	1後		2								1
	世界の芸術・芸能	1後		2								3
	地球環境	1後		2								1
	グローバルヘルス(未開講)	2前		2								7
	日本	1後		2								3
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0		22	
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前		2								1
	青森の食と産業化	2前		2								4
	市民参加と地域づくり	2前		2								1
	青森エクスカーション	2前		2			0					
	地域プロジェクト演習	2前		2								1
小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0		7	
社会・文化	くらし・文化(未開講)	1前		2								2
	歴史・地理	1前		2								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	思想	1前		2								2
	言語学の世界	1後		2								3
	文学(未開講)	1前		2								5
	芸術	1前		2								2
	政治経済・社会	1前後		2								4
	法と社会A(未開講)	1前		2								0
	法と社会B(未開講)	1前		2								1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	19
自然・科学	環境と生活	1前		2								8
	工学の世界(未開講)	1後		2								4
	農学の世界(未開講)	1前後		2								9
	数学の世界(未開講)	1前後		2								3
	物理学の世界(未開講)	1前後		2								7
	化学の世界	1前		2								1
	生物学の世界	1前後		2								9
	情報処理入門A	1前		2								1
	情報処理入門B(未開講)	1前後		2								1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	41
人間・生命	人間の尊厳	1前		2								1
	人を育む営み	1前後		2								3
	心理学の世界(未開講)	1後		2								1
	メンタルヘルス	1前		2								3
	生活と健康	1前		2								5
	医学・医療の世界	1後		2								12
	情報と健康・医学	1前		2								1
	運動と健康A	1前後		2								3
	運動と健康B(未開講)	2前		2								3
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	30
キャリア	キャリア形成の基礎	1後		2								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教育	キャリア形成の発展	2・3前		2			1					
	キャリアデザイン	2前		2								1
	小計(3科目)	-	2	4	0	0	1	0	0	0	0	2
英語	Listening(初級) (未開講)	1前		2								11
	Listening(中級)	1前		2								3
	Listening(上級)	1前		2								2
	Reading(初級) (未開講)	1前		2								8
	Reading(中級)	1前		2								4
	Reading(上級)	1前		2								2
	Speaking(初級) (未開講)	1後		2								10
	Speaking(中級)	1後		2								3
	Speaking(上級)	1後		2								2
	Writing(初級) (未開講)	1後		2								1
	Writing(中級)	1後		2								3
	Writing(上級)	1後		2								2
	Integrated A(国際 共通語としての英 語)	2前		2								1
	Integrated B(一般 学術目的の英語) Level 1	2後		2								1
	Integrated B(一般 学術目的の英語) Level 2	3前		2								1
	Integrated C(キャ リア英語)	3前		2								1
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	27	
多 言 語	ドイツ語 I (未開 講)	1後		4								2
	フランス語 I (未 開講)	1前		4								1
	ロシア語 I (未開 講)	1後		4								1
	中国語 I (未開講)	1前		4								2
	朝鮮語 I (未開講)	1前		4								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	日本語A(未開講)	1前		2								1
	日本語B(未開講)	1前		2								1
	ドイツ語Ⅱ(未開講)	1後		4								2
	フランス語Ⅱ(未開講)	1後		4								2
	ロシア語Ⅱ(未開講)	1後		4								0
	中国語Ⅱ(未開講)	1後		4								2
	朝鮮語Ⅱ(未開講)	1後		4								0
	フランス語Ⅲ	2前		2								1
	ドイツ語Ⅲ(未開講)	2後		2								0
	小計(14科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	0	14
専 門 教 育 科 目	【心理系科目】 心理学概論	1後	2			4	3					
	公認心理師の職責	1後	2			1						
	臨床心理学概論	1後	2				1					
	心理学研究法	1後	2			1						
	心理学実験	2後	2			1						
	心理学統計法	2前	2			1						
	【医学・保健医療系科目】 精神疾患とその治療(医学概論)	1前	2			1						
	精神疾患とその治療(保健学概論)	1前	1									7
	コミュニケーション論	1前		1								2
	早期体験実習(多職種連携)	1後	1			2						
	心理支援科学英語講読基礎	2後	2			1						
	人体の構造と機能及び疾患(人体形態学)	2前	2									2
	人体の構造と機能及び疾患(人体機能学)	2前	2									1
	人体の構造と機能及び疾患(人体病理学)	2後	2									1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	運動学	2後		2								1
	言語療法学概論	3後		1								2
	保健学概論演習	4後		1								5
	小計(17科目)	-	24	5	0	4	3	0	0	0		19
専 門 科 目 / 専 門 応 用 科 目	【心理系科目】 知覚・認知心理学	2前	2			1						
	感情・人格心理学	2前	2				1					
	発達心理学 I	2前	2				1					
	学習・言語心理学	2後	2			1						
	神経・生理心理学	2後	2				1					
	発達心理学 II	2後	2			1	1					
	健康・医療心理学	2後	2			1						
	臨床心理学演習 I	2後	1			1						
	障害者・障害児心 理学	3前	2			1						
	心理的アセスメン ト	3前	1			1	1					
	心理学的支援法 I	3前	2			1	1					
	福祉心理学	3前	2				1					
	教育・学校心理学	3前	2				1					
	臨床心理学演習 II	3前	1				1					
	社会・集団・家族 心理学(社会心 理学)	3後	2									1
	心理学的支援法 II	3後	2			1						
	司法・犯罪心理学	3後	2									1
	産業・組織心理学	3後	2				1					
	関係行政論	3後	2			1						
	心理学基礎研究	3通	2			2						
	臨床心理学実習	3通	2			1	2					
	【医学・保健医療 系科目】 精神疾患とその治 療(精神医学)	2前	2			1						
	臨床栄養学	2前		2								2
	老年看護学概論	2前		1								1
	作業療法概論	2前		2								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	心理支援科学英語講読応用	2後		2		1						
	精神疾患とその治療(心身医学)	2後		2		1						
	薬理学	2後		2								1
	衛生学・公衆衛生学	2後		2								1
	疫学	2後		1								1
	老年看護方法論	2後		1								1
	医療リスクマネジメント	3前	1									5
	発達小児科学	3前		2		1						
	医療情報学	3前		1								2
	保健医療心理的アセスメント	3後	1				2					
	保健医療心理支援演習	3後	1									1
	慢性疾患学	3後		2		1						
	生命倫理学	4前	2			1						
	救急・蘇生医学	4後		1								1
	保健医療地域支援実習	4通	2			1	2					
	【実践系科目／教育系科目】 教育原理	2前		2								1
	養護学概論	2前		2								1
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	3前		2								2
	健康教育概論	3後		2								6
	幼児理解と教育相談	3後		2								1
	教職入門	3通		1								1
	【実践系科目／福祉系科目】 社会福祉学	2前		1								1
	セルフケア論	2前		1								1
	保健医療福祉行政論	2後		1								1
	社会保障論	4後		1								1
	セクシュアリティ論	4後		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	【実践系科目／産業系科目】 経営学入門	2前		2								1	
	経営戦略論	2後		2								1	
	経営管理論	3前		2								1	
	経営組織論	3後		2								1	
	【実践系科目／司法系科目】 刑事司法論	2後		2								1	
	法学特殊講義	3後		2								1	
	小計(57科目)	-	48	49	0	4	3	0	0	0	0	36	
	卒業研究	臨床心理学基礎研究	3通	2			2	3					
		臨床心理学研究	4通	2			2	3					
		卒業研究	4通	4			2	3					
小計(3科目)		-	8	0	0	2	3	0	0	0	0	0	
合計(158科目)		-	86	230	0	4	3	0	0	0	0	227	
卒業要件及び履修方法													
教養教育科目34単位、専門教育科目93単位以上（専門科目85単位（うち専門応用科目の医学・保健医療系科目13単位、実践系科目6単位）、卒業研究8単位）を修得し、127単位以上修得すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

(教養教育科目)

- ・教育内容の充実のため、「地域学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼9」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の行政」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の歴史」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の民俗・芸能」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の自然」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼19」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「グローバル社会・経済」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「国際地域」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「世界の芸術・芸能」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「地球環境」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「グローバルヘルス」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・専任教員の就任辞退（安達知郎准教授/令和2年3月）により、「青森エクスカッション」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任として、兼担教員を配置予定。
- ・教育内容の充実のため、「歴史・地理」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「思想」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「言語学の世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「言語学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「芸術」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「政治経済・社会」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「政治経済・社会」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「環境と生活」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼8」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「工学の世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「工学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「農学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「農学の世界」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼9」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「数学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「数学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「物理学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「物理学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「生物学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「生物学の世界」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「情報処理入門B」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「人を育む営み」を追加。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学の世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「メンタルヘルス」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「生活と健康」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「医学・医療の世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「医学・医療の世界」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼12」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「情報と健康・医学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「運動と健康A」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「運動と健康B」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼11」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Speaking（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Speaking（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Speaking（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Writing（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Writing（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「ドイツ語Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅰ」を追加。
- ・教育課程の見直しのため、「ロシア語Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本語A」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「日本語B」を追加。
- ・教員配置の見直しのため、「ドイツ語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅱ」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅲ」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「ドイツ語Ⅲ」を追加。

【専門教育科目】

- ・専任教員の安達知郎准教授が就任を辞退したため、「心理学概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更し、専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。後任の専任教員については、令和3年4月就任予定（令和3年2月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学実験」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心理統計法」から「心理学統計法」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学統計法」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「医学概論」から「精神疾患とその治療（医学概論）」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「保健学概論」から「精神疾患とその治療（保健学概論）」に変更（教員審査省略）。
- ・教員配置の見直しのため、「精神疾患とその治療（保健学概論）」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「7」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「心理支援科学英語講読基礎」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体形態学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体形態学）」に変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体機能学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体機能学）」に変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体病理学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体病理学）」に変更（教員審査省略）。
- ・教育内容の充実のため、「発達心理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心理アセスメント」から「心理的アセスメント」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学（社会心理学）」に変更（教員審査省略）。
- ・専任教員の就任辞退（安達知郎准教授/令和2年3月）により、「臨床心理学実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。なお、安達准教授担当部分は、専任教員の足立准教授の担当に変更（令和2年6月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「精神医学」から「精神疾患とその治療（精神医学）」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心身医学」から「精神疾患とその治療（心身医学）」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・教員配置の見直しのため、「医療リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「保健医療心理アセスメント」から「保健医療心理的アセスメント」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・専任教員の安達知郎准教授が就任を辞退したため、「臨床心理学基礎研究」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。後任の専任教員については、令和3年4月就任予定（令和2年8月教員審査済）。
- ・専任教員の安達知郎准教授が就任を辞退したため、「臨床心理学研究」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。後任の専任教員については、令和3年4月就任予定（令和2年8月教員審査済）。
- ・専任教員の安達知郎准教授が就任を辞退したため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更。後任の専任教員については、令和3年4月就任予定（令和2年8月教員審査済）。

【令和3年度】

（教養教育科目）

- ・教育内容の充実のため、「地域学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授4、准教授4」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・教育内容の充実のため、「青森の行政」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「青森の文化」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の歴史」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の自然」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼19」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「グローバル社会・経済」の配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「グローバル社会・経済」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「国際地域」の配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「国際地域」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「比較文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「世界の芸術・芸能」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「世界の芸術・芸能」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「地球環境」の配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「グローバルヘルス」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「グローバルヘルス」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼8」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「日本」の配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「青森の多様性と活性化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「青森の食と産業化」の配当年次を「2前」から「2前後」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「青森の食と産業化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「市民参加と地域づくり」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「市民参加と地域づくり」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「青森エクスカッション」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「地域プロジェクト演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員配置の見直しのため、「くらし・文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「歴史・地理」を追加。
- ・教育課程の見直しのため、「文学」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「文学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「政治経済・社会」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。

- ・教育課程の見直しのため、「環境と生活」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「工学の世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「工学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「農学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「農学の世界」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「数学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「数学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「物理学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「物理学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「情報処理入門A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「人を育む営み」を追加。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学の世界」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学の世界」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「メンタルヘルス」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「生活と健康」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼9」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「医学・医療の世界」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼8」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「情報と健康・医学」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「情報と健康・医学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「運動と健康A」の配当年次を「1前」から「1前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「運動と健康A」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼13」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「運動と健康B」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「キャリア形成の発展」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼5」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「キャリアデザイン」の配当年次を「2前」から「2前後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「キャリアデザイン」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Listening（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Reading（上級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Integrated B（国際共通語としての英語）Level1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「Integrated C（キャリア英語）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅰ」を追加。
- ・教員配置の見直しのため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本語A」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「日本語B」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅱ」を追加。
- ・教育課程の見直しのため、「中国語Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「フランス語Ⅲ」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「ドイツ語Ⅲ」を追加。

（専門教育科目）

- ・教育課程の見直しのため、「心理学概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学実験」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心理統計法」から「心理学統計法」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・教育課程の見直しのため、「心理学統計法」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「医学概論」から「精神疾患とその治療（医学概論）」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「保健学概論」から「精神疾患とその治療（保健学概論）」に変更（教員審査省略）。
- ・教員配置の見直しのため、「精神疾患とその治療（保健学概論）」の兼任・兼担教員の配置を「8」から「7」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「心理支援科学英語講読基礎」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体形態学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体形態学）」に変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体機能学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体機能学）」に変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「人体病理学」から「人体の構造と機能及び疾病（人体病理学）」に変更（教員審査省略）。
- ・教育内容の充実のため、「発達心理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心理アセスメント」から「心理的アセスメント」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学（社会心理学）」に変更（教員審査省略）。
- ・教育内容の充実のため、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・専任教員の就任辞退（安達知郎准教授/令和2年3月）により、「臨床心理学実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。なお、安達准教授担当部分は、専任教員の足立准教授の担当に変更（令和2年6月教員審査済）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「精神医学」から「精神疾患とその治療（精神医学）」に変更（令和2年8月教員審査済）。

- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「心身医学」から「精神疾患とその治療（心身医学）」に変更（令和2年8月教員審査済）。
- ・教育内容の充実のため、「衛生学・公衆衛生学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更（教員審査省略）。
- ・教育内容の充実のため、「疫学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更（教員審査省略）。
- ・教員配置の見直しのため、「医療リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師の学部カリキュラム対応のため、科目名を「保健医療心理アセスメント」から「保健医療心理的アセスメント」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・教育課程の見直しのため、「特別な教育的ニーズの理解とその支援」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
- ・兼任教員の辞職（野寄茉莉講師/令和3年3月）により、専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」に変更。後任として兼任教員を配置予定。
- ・教育課程の見直しのため、「社会保障論」の配当年次を「4後」から「3後」に変更。
- ・教育課程の見直しのため、「セクシュアリティ論」の配当年次を「4後」から「3後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「経営学入門」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更（教員審査省略）。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
46 科目	104 科目	0 科目	150 科目	46 科目 [0]	112 科目 [8]	0 科目 [0]	158 科目 [8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ロシア語Ⅱ	2	1後	一般	選択	新型コロナウイルス感染防止対策による講義室の収容人数の変更に伴い、講義室及び時間割の調整を行った結果、「ロシア語Ⅰ」を後期に移動したため、上位レベル科目である「ロシア語Ⅱ」は令和3年度未開講とした。代替措置無。
2	朝鮮語Ⅱ	2	1後	一般	選択	新型コロナウイルス感染防止対策による講義室の収容人数の変更に伴い、講義室及び時間割の調整を行った結果、「朝鮮語Ⅰ」を後期に移動したため、上位レベル科目である「朝鮮語Ⅱ」は令和3年度未開講とした。代替措置無。
3	フランス語Ⅲ	2	2前	一般	選択	今年度の履修希望者が見込めなかったため、令和3年度は未開講とした。代替措置無。
4	ドイツ語Ⅲ	2	2後	一般	選択	今年度の履修希望者が見込めなかったため、令和3年度は未開講とした。代替措置無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学における新型コロナウイルス感染防止対策による講義室の収容人数の変更に伴い、講義室及び時間割の調整を行った結果、やむなく未開講となったが、選択科目であり、他の科目を履修することにより、教養教育科目の所要単位数を修得することができるため、学生への影響はないものとする。
 なお、未開講科目については、シラバス、授業時間割により学生に対し周知済みであり、未開講による教育の質の低下及び学生への影響がないように措置を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{150} = \boxed{2.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	201,728㎡ 201,139㎡ 76,254㎡	0㎡	0㎡	201,728㎡ 201,139㎡ 76,254㎡			
	運動場用地	82,910㎡	0㎡	0㎡	82,910㎡			
	小 計	284,638㎡ 284,049㎡ 159,164㎡	0㎡	0㎡	284,638㎡ 284,049㎡ 159,164㎡			
	そ の 他	860,496㎡ 860,370㎡ 169,525㎡	0㎡	0㎡	860,496㎡ 860,370㎡ 169,525㎡			
	合 計	1,145,314㎡ 1,144,419㎡ 328,689㎡	0㎡	0㎡	1,145,314㎡ 1,144,419㎡ 328,689㎡			
(2) 校 舎	専 用	133,673㎡ 133,638㎡ 166,963㎡	0㎡	0㎡	133,673㎡ 133,638㎡ 166,963㎡			
		(133,673㎡) (133,638㎡) (166,963㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(133,673㎡) (133,638㎡) (166,963㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	96室 102室	演 習 室 138室 144室 111室	実験実習室 573室 561室 459室	情報処理学習施設 17室 19室 12室	語学学習施設 4室 7室	大学全体 教室等の整備及び用途 変更に伴う増(2) 教室等の整備及び用途 変更に伴う増減(3)	
				(補助職員 0人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	医学部 心理支援科学科			8 7 8	室	令和2年3月に専任教員 1名が退職したことに伴 う減(2) 令和3年4月に専任教員 1名が就任したことに伴 う増(3)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	-	832,097 [228,421] 825,285 [227,943] 821,909 [232,587]	24,663 [6,192] 24,531 [6,191] 24,806 [6,310]	7,192 [5,671] 7,089 [5,613] 7,047 [5,717]	2,420 2,370 2,213	6,697 6,612 6,242	10	
		832,097 [228,421] (825,285 [227,943]) (821,909 [232,587])	(24,663 [6,192]) (24,531 [6,191]) (24,806 [6,310])	(7,192 [5,671]) (7,089 [5,643]) (7,047 [5,717])	(2,420) (2,370) (2,213)	() (6,612) (6,242)	(10)	購入及び廃棄等に伴う 増減(2)
	計	832,097 [228,421] 825,285 [227,943] 821,909 [232,587]	24,663 [6,192] 24,531 [6,191] 24,806 [6,310]	7,192 [5,671] 7,089 [5,613] 7,047 [5,717]	2,420 2,370 2,213	6,697 6,612 6,242	10	購入及び廃棄等に伴う 増(3)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	本館	5,965㎡ 5,945㎡ 6,111㎡	本館	521席 509席 507席	本館	677,833冊 701,806冊	施設実態報告における 用途分類の変更に伴う 面積減及び館内整備に 伴う閲覧座席数・収納 可能冊数の増(2)	
分館	1,386㎡ 1,569㎡	分館	119席	分館	166,667冊 166,000冊	既存建物の面積改訂に 伴う増及び館内整備に よる閲覧座席数・収納 可能冊数の増減(3)		

(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		文京町	3,394㎡	野 球 場 (2 面) 弓 道 場 (140 ㎡) プ ー ル (50m) 馬 房 (196 ㎡)	武 道 場 (883 ㎡) テ ニ ス コ ー ト (8 面) サ ッ カ ー ・ ラ ク ビ ー 場 (2 面) 400m ト ラ ッ ク			
本町	1,457㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
【学部】											
人文社会科学部	4	265	0	1,060	-	1.05	1.06	-	平成28	-	
文化創生課程	4	110	0	440	学士 (人文社会科学)	1.04	1.07	-	平成28	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	620	学士 (人文社会科学)	1.06	1.05	-	平成28	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成17	-	平成28年度学生募集停止
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	-	-	平成17	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	-	-	平成17	同上	平成28年度学生募集停止
経済経営課程	4	5	企画課	-	学士 (人文社会科学)	-	-	-	平成17	同上	平成28年度学生募集停止
教育学部	4	160	0	640	-	1.04	1.04	-	平成12	-	
学校教育教員養成課程	4	140	0	560	学士 (教育学)	1.04	1.03	-	平成12	青森県弘前市大字文京町1番地	令和2年度定員変更(△10)
養護教諭養成課程	4	20	0	80	学士 (教育学)	1.06	1.10	-	平成12	同上	
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
医学部	-	322	2年次 20 3年次 30	1,672	-	1.01	1.03	令和2	昭和24	-	
医学科	6	112	2年次 20	772	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.02	1.05	-	平成12	青森県弘前市大字本町66番地1	
心理支援科学科	4	10	0	40	学士 (心理学)	1.05	1.10	令和2	令和2	同上	
理工学部	4	360	3年次 10	1,460	-	1.02	1.02	-	平成9	-	
数物科学科	4	78	3年次 2	316	学士 (理工学)	1.02	1.02	-	平成28	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	210	学士 (理工学)	1.00	1.00	-	平成18	同上	
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	264	学士 (理工学)	1.01	1.01	-	平成28	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	224	学士 (理工学)	1.05	1.07	-	平成18	同上	
機械科学科	4	80	3年次 2	324	学士 (理工学)	1.01	1.03	-	平成28	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	122	学士 (理工学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年度学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年度学生募集停止

農学生命科学部	4	215	0	860	-	1.03	1.01	-	平成9	-	
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.03	1.05	-	平成20	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	
食料資源学科	4	55	0	220	学士 (農学生命科学)	1.02	1.00	-	平成28	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	200	学士 (農学生命科学)	1.04	1.00	-	平成28	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.04	1.00	-	平成28	同上	
学部全体	-	1,322	2年次 20 3年次 40	5,692	-	-	-	-	-	-	
【大学院】											
人文社会科学研究科	2	16	-	32	-	0.84	1.00	令和2	平成11	-	
(修士課程)											
人文社会科学専攻	2	16	-	32	修士 (人文社会科学)	0.84	1.00	令和2	令和2	青森県弘前市大字文京町1番地	
文化科学専攻	2	-	-	-	修士 (人文社会科学)	-	-	-	平成11	同上	令和2年度 学生募集停止
応用社会科学専攻	2	-	-	-	修士 (人文社会科学)	-	-	-	平成11	同上	令和2年度 学生募集停止
教育学研究科	2	18	-	36	-	0.88	1.11	令和2	平成6	-	
(専門職学位課程)											
教職実践専攻	2	18	-	36	教職修士 (専門職)	0.88	1.11	令和2	平成29	青森県弘前市大字文京町1番地	令和2年度 定員変更(2)
(修士課程)											
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成6	青森県弘前市大字文京町1番地	令和2年度 学生募集停止
医学研究科	4	60	-	240	-	0.81	0.95	-	昭和33	-	
(博士課程)											
医科学専攻	4	60	-	240	博士 (医学)	0.81	0.95	-	平成16	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学研究科	-	42	-	96	-	1.06	1.07	-	平成19	-	
(博士前期課程)											
保健学専攻	2	30	-	60	修士 (看護学又は保健学)	1.03	1.06	-	平成19	青森県弘前市大字本町66番地1	
(博士後期課程)											
保健学専攻	3	12	-	36	博士 (保健学)	1.10	1.08	-	平成19	青森県弘前市大字本町66番地1	
理工学研究科	-	132	-	276	-	0.86	0.95	-	平成14	-	
(博士前期課程)											
理工学専攻	2	120	-	240	修士 (理工学)	0.93	1.00	-	平成22	青森県弘前市大字文京町3番地	
(博士後期課程)											

機能創成科学専攻	3	6	-	18	博士 (理学又は工学)	0.22	0.33	-	平成16	青森県弘前市大字文京町3番地	
安全システム工学専攻	3	6	-	18	博士 (理学又は工学)	0.50	0.50	-	平成16	同上	
農学生命科学研究科 (修士課程)	2	50	-	100	-	0.83	0.84	-	平成14	-	
農学生命科学専攻	2	50	-	100	修士 (農学生命科学)	0.83	0.84	-	平成24	青森県弘前市大字文京町3番地	令和2年度 定員変更(△10)
地域社会研究科 (後期3年博士課程)	3	6	-	18	-	0.94	0.83	-	平成14	-	
地域社会専攻	3	6	-	18	博士 (学術)	0.94	0.83	-	平成14	青森県弘前市大字文京町1番地	
地域共創科学研究科 (修士課程)	2	30	-	60	-	0.84	0.86	令和2	令和2	-	
地域リノベーション専攻	2	15	-	30	修士 (地域共創社会学又は地域共創工学)	0.83	0.80	令和2	令和2	青森県弘前市大字文京町1番地	
産業創成科学専攻	2	15	-	30	修士 (地域共創農学又は地域共創経営学)	0.86	0.93	令和2	令和2	同上	
大学院全体	-	354	-	858	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成元年)	公認心理師資格の取得について、大学院での学修または3年間の実務経験が必要になること、大学院での学修は、公認心理師指定大学院に進学すれば可能ということ、これらにより当該資格試験の受験資格を得ることができるということを学生に対して適切に周知・説明すること。	<p>志願者向けの広報パンフレットにおいて、心理支援科学科卒業後の進路のひとつとして「公認心理師受験資格取得のため大学院進学」を明記しているほか、専任教員が担当する基礎ゼミナールにおいても、公認心理師資格試験の受験区分について説明している。</p> <p>(2)</p> <p>学科案内において、心理支援科学科卒業後の進路のひとつとして「公認心理師受験資格取得のため大学院進学」を明記しているほか、専任教員が担当する基礎ゼミナールにおいても、公認心理師資格試験の受験区分について説明している。</p> <p>(3)</p> <p>添付資料 弘前大学医学部 心理支援科学科案内2021 (64頁参照)</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

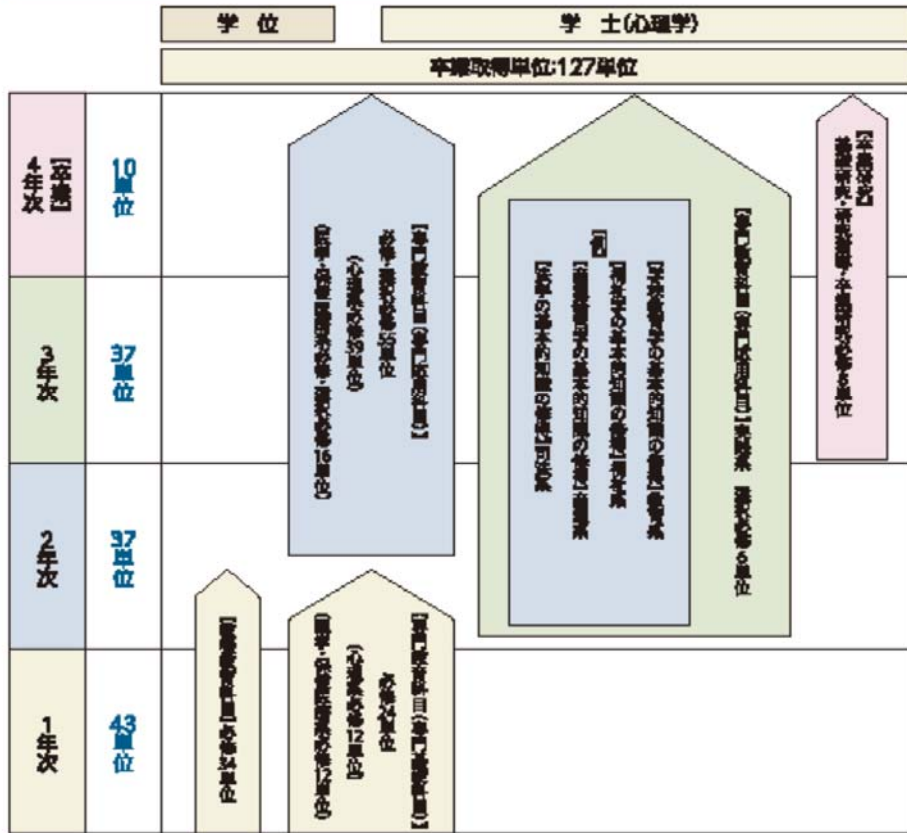
- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



弘前大学 医学部心理支援科学科

HIROSAKI UNIVERSITY 2021
SCHOOL OF CLINICAL PSYCHOLOGICAL SCIENCE

医学部心理支援科学科教育課程の概念図



取得学位 「学士(心理学)」(Bachelor of Psychology)

取得可能な資格

- 認定心理士(学会認定資格)
- 児童指導員(任用資格)
- 心理判定員(任用資格)

卒業後の進路

- 公認心理師試験受験資格のため大学院進学
(弘前大学では令和6年度設置予定)
- 地方上級心理職(心理系地方公務員)
- 家庭裁判所調査員
- 矯正心理専門職
- 法務教官 等



7 その他全般的事項

<医学部 心理支援科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 令和3年度授業開始日の変更	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在学生の授業開始日を当初予定の4月9日、新入生の授業開始日を4月16日に変更し、在学生と新入生の接触機会を減らすこととした。
② 入学者選抜方法の変更	② 新型コロナウイルス感染症の影響により、高等学校等における諸活動が制限を受けていることから、令和3年度入学者選抜試験においては、調査書を用いた評価を行うことを見合わせた。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 保健学研究科FD委員会（添付資料 弘前大学大学院保健学研究科FD委員会要項 参照）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催年数：年1回 ・ 令和3年度については未定 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長の選出 ・ 令和3年度の活動計画（案） ・ その他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) メディア授業における学力の担保及び授業評価について、保健学研究科（医学部心理支援科学科を含む）の教員を対象としたFD講演会を実施した。 2) 教養教育科目の実施にあたり、学内担当教員を対象に、基礎ゼミナールや地域学ゼミナールの授業運営に関する研修会や、メディア授業や複数教室における授業実施方法に関する研修会を実施した。 3) 新型コロナウイルス感染拡大による全学的なメディア授業の実施に備え、学内教職員及び非常勤講師を対象としたメディア授業の実施方法に関するFD研修会を開催した。 4) 本学における教育の内部質保証の取組の一環として、学内教職員を対象としたシラバスの作成及びカリキュラムチェックの実施に関するFD研修会を開催した。 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Webと対面の併用開催 2) Web（第1回、第4回）及び対面（第2回、第3回） 3) Web（第1回）及び対面（第2回） 4) Web
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) Webと対面の併用開催
- 2) 令和2年8月21日（第1回）73名参加、令和2年9月15日（第2回）53名参加、令和2年9月30日（第3回）約50名参加、令和3年3月16日（第4回）87名参加
- 3) 令和2年4月17日（第1回）約300名参加、令和2年5月1日（第2回）59名参加
- 4) 令和3年1月27日 58人参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大による一斉メディア授業において、効果的な試験の実施方法や教員フィードバック等の学生に対する授業の振り返り方の理解を深め、メディア授業と評価方法の質改善に向けて取り組んでいる。
- 2) 教養教育科目の必修科目である基礎ゼミナール及び地域学ゼミナールについて、授業の目的や概要を教員間で共有することにより、教育内容の充実に取り組んでいる。また、メディア授業や複数教室における授業実施方法について、教員の理解を深め、情報共有を行うなど教育体制の整備に取り組んでいる。
- 3) メディア授業の実施方法やTeamsによる授業実施方法について共有を図ることにより、スムーズに対面授業からメディア授業に切り替え、教育の質保証に取り組んでいる。
- 4) シラバスの作成及びカリキュラムチェックの実施の背景や目的、具体的な進め方について、教職員の理解を深めることを目的とし、DP・CPIに即した教育課程が編成されているかを確認し、教育の充実が図られている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の終了ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果を学内限定ホームページで公表し、フィードバックしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設2年目を迎えた令和3年度においては、志願倍率は初年度の4.2倍から2.1倍に落ち着いたものの、入学者に占める北海道・東北地区出身者の割合は、7割から9割へと上昇した。新型コロナウイルスの影響による地元志向の傾向も考えられるが、公認心理師の養成を想定した学科としては本学が東北・北海道地区の国立大学では初めてであることへの存在感は示されていると言える。

Webオープンキャンパス2020においては、心理支援科学科卒業後の公認心理師の資格取得のための大学院進学を説明しているほか、具体的なカリキュラムについても説明するなど志願者獲得に力を入れ、オープンキャンパス期間終了後も引き続き動画を公開している。

また、教員の研究活動においては、公認心理師と医療系の多職種連携が求められており、異なる専門領域からの学際的・分野融合的なテーマへの取組が進められるなど、心理支援科学科を医学部に設置したことによる教育面での効果についても期待されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

年次進行終了後の令和6年度に自己点検評価を実施・公開予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和7年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(設置)

第1条 弘前大学大学院保健学研究科に、大学院教育及び学部教育の質的向上を図るため、弘前大学大学院保健学研究科FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 大学院教育及び学部教育におけるFD活動の方針に関すること。
- (2) 大学院教育及び学部教育FD活動の企画並びに実施に関すること。
- (3) その他大学院教育及び学部教育FD活動に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各領域から推薦された大学院教育担当教員 各2名
 - (2) 学事委員会から推薦された教員 1名
 - (3) 保健学科学務委員会から推薦された教員 1名
 - (4) 委員会が必要とする教員で、研究科長が指名した者
- 2 前項第1号の委員は、同項第2号から第3号までの委員を兼ねることができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により決める。

(任期)

第5条 第3条第1号の委員の任期は2年とする。ただし、再任は1回までとし、引き続き4年を超えることはできない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

- 第6条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。
- 2 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。
 - 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
 - 4 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、保健学研究科事務部において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附記

- 1 この要項は、平成20年6月18日から実施し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 弘前大学医学部保健学科FD委員会要項は、廃止する。

附記

この要項は、平成21年1月21日から実施する。

附記

- 1 この要項は、平成26年4月1日から実施する。
- 2 この要項の実施の日において現に委員である者の任期は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。この場合において、改正後の同条ただし書きの規定は適用しない。

附記

この要項は、平成28年4月1日から実施する。